

# ほけんだよい

ほけんだよりは、保護者の方と  
お子さんで一緒にお読みください。

令和5年2月14日 ふじみ野市立西小学校 保健室発行

1月21日の学校公開日に6年生の児童を対象に「がん教室」を開催しました。  
当日は、がんについての話を聞き、動画をみたあと、ゲストティーチャー「Hand in hand」(ボランティアでがんの患者さんやその家族をサポートされている)の方々のお話を聞きました。

6年生のワークシートはたくさんのメモで埋められ、しっかりと話を聞くことができました。一部ですが、紹介させていただきます。



★①あなたの身近な人や②友達の家族ががんになってしまったら…。どんな言葉をかけますか？

①困っていることある？

①他のことはあんまり気にしすぎなくていいからね

①手伝うことってある？

①いっしょにおしゃべりしましょう

①無理しないで…

①元気になったら〇〇しようね

①大丈夫だよ。僕がいるから安心して。何かあったらすぐに周りの人に頼ってもいいんだよ

②ふつうに接する。困ることがあったら助ける。

②大丈夫？そうだんにのるよ

②何かできることがあれば言ってね。相談してね

②やさしく、いつも通りに。ちょっと、大人の人にどうしたほうがいいのか聞く

①がんって怖いと思うけどがんばってなおそうね

②一人でかかえこまないで



★今後どのようなことに気をつけて生活していきたいですか？

生活習慣を大事にして、もし、まわり（の人）ががんになってしまったら、やさしく声をかけていきたいです。親にもこのことを伝えたいと思いました。

原因である運動不足やたばこお酒の飲みすぎには気をつけるように意識しながらくらす。誰もがなるがんは早期発見すれば治るから、体調が悪い日が続いてたら病院に連れていくように意識する。

生活習慣を見直して、もし、身近な人ががんになってしまったら、話を聞いてあげるなど、自分にできることをやってあげたいです。

がんになる可能性が高いことをしないようにする。もし、家族ががんになってしまったときに、あわてないで相談したり、今日勉強したことをいかしていきたい。本を読んでくわしく知りたい。

自分の親切心でほかの人に嫌な思いをさせてしまうことがあると知ったので、迷惑にならない程度で、相手を元気づけていこうと思いました。



★おうちの人から、一言

がんについて今まで知識がなかったと思うので、正しい知識が身についてありがたいと思いました。体験談など、きっと心に深く残ったお話だったと思います。ありがとうございました。

正しい知識を学ばせていただき、ありがとうございます。主人にも一生懸命説明していました。プリントに相談先も記載されているのがよかったです。

貴重な時間をいただけてありがとうございました。やはり、少し難しいのか、当事者ではないからなのか、子供はいまいち重大さをわかっていないのですが、まずは知ることが大事で、本日はその一歩となったと思います。私たち保護者としては、このような活動（ボランティア）があることを知ってはいったものの、活動している皆さんのそのご苦労とあたたかさを知りました。子供と今後いろいろな話したいと思いました。

誰も悪くないということを理解して（自分を責めないで）、治るように祈ってもらいたいです。

以前はがんといえば不治の病という印象が強かったのですが、医学の進歩により、治療・回復ができます。学校で習ったことを活かし、「早期発見、早期治療」を自分のみならず声がけしていきたいです。